

佐々木 克先生年譜・著作目録

略年譜

- 一九四〇年二月二三日 秋田県仙北郡清水村（現大仙市）に生れる
- 一九五九年三月 県立秋田高校卒業
- 一九六四年三月 立教大学文学部史学科卒業。同年、立教大学大学院文学研究科入学。
- 一九七一年二月 立教大学大学院文学研究科博士課程日本文学専攻単位修得退学。
- 一九六六年より、国立国会図書館司書補佐（非常勤職員）として、憲政資料室で文書整理・目録作成にあたる。
- 一九七一年二月 米国カリフォルニア・モントレーインステイチュート講師（日本近代史、日本文化史、時事日本語担当）。八月まで。
- 一九七二年九月 大阪商工会議所研究調査員（嘱託）。
- 五代友厚関係文書の目録作成にあたる。七三年二月まで。
- 以後、フリーの編集者・ライターとして、主に平凡社、小学館、集英社の書籍編集・出版にたずさわる。
- 京都大学人文科学研究所助教授。
- 京都大学人文科学研究所教授。
- 吉田茂賞受賞（『大久保利通と明治維新』にて）
- 明治維新史学会会長（二〇〇四年、五月まで）
- 京都大学人文科学研究所、定年退職。
- 京都大学名誉教授。
- 一九九二年から二〇〇六年まで、佛教学、立命館大学、同志社大学、関西大学の非常勤講師。

二〇〇七年四月 奈良大学教授。

二〇〇九年十月 学位取得。京都大学博士（文学）。

二〇一一年三月 奈良大学、定年退職。

II 編著

『それぞれの明治維新』

吉川弘文館（人文科学研究共同研究報告書）

二〇〇〇年

『幕末維新の彦根藩』サンライズ出版 二〇〇一年

『明治維新期の政治文化』

思文閣出版（人文科学研究共同研究報告書）

二〇〇五年

I 単著

『戊辰戦争』中央公論社 一九七七年 中公新書

『志士と官僚』ミネルヴァ書房 一九八四年

『日本近代の出発』集英社（『日本の歴史17』）一九九二年

『大久保利通と明治維新』吉川弘文館 一九九八年

『志士と官僚』講談社学術文庫（増補版）二〇〇〇年

『江戸が東京となった日』講談社選書メチエ 二〇〇一年

『幕末政治と薩摩藩』吉川弘文館 二〇〇四年

『幕末の天皇・明治の天皇』

講談社学術文庫（書き下ろし）二〇〇五年

『岩倉具視』吉川弘文館 二〇〇六年

『大久保利通』山川出版 二〇〇九年

『坂本龍馬とその時代』河出書房新社 二〇〇九年

III 監修・校訂・解説

『水戸藩死事録・義烈伝纂稿』同朋社 一九八三年

『征西従軍日誌』講談社学術文庫 二〇〇一年

『大久保利通』講談社学術文庫 二〇〇四年

『明六社』大久保利謙著 講談社学術文庫 二〇〇七年

『榎本武揚シベリア日記』講談社学術文庫 二〇〇八年

IV 共著・共編

【論文】

『大久保利通関係文書』一～五

吉川弘文館 一九六五～七一年

『常陸の歴史』講談社 一九七七年

『日本史(6) 近代1』有斐閣 一九七七年

『古文書用字用語大辞典』柏書房 一九八〇年

『古文書用語辞典』柏書房 一九八三年

『滋賀県の歴史』河出書房新社 一九八七年

『史料京都の歴史1概説』平凡社 一九九一年

『日本の近世18 近代国家への志向』

中央公論社 一九九四年

『幕末維新を考える』思文閣出版 二〇〇〇年

『近代日本における東アジア問題』

吉川弘文館 二〇〇一年

『明治維新の新視角』高城書房 二〇〇一年

『民藏分離問題』についての一考察

『史苑』二九―三〇号 一九六九年

奥羽列藩同盟の形成と性格

『史苑』三二―三三号 一九七二年

文明開化時代の政治構造

『歴史公論』二月号 一九七八年

版籍奉還の思想

小西四郎・遠山茂樹編『明治国家の権力と思想』

吉川弘文館 一九七九年

維新政権の官僚と政治

『人文学報』(京都大学) 四七号 一九七九年

文明開化の政治指導

林屋辰三郎編『文明開化の研究』岩波書店

一九七九年

天皇の私的空間

『歴史公論』一月号 一九八一年

川瀬教文と「戊辰公務日記抄」

『茨城県史研究』四七号 一九八一年

「自由民権」における士族と政府

『歴史公論』九月号 一九八一年

天皇像の形成過程

飛鳥井雅道編『国民文化の研究』筑摩書房

一九八四年

琵琶湖疏水の政治的背景

『滋賀近代史研究』二号 一九八六年

華族令の制定と華族の動向

『人文学報』（京都大学）六二号 一九八七年

草莽の志士城多董と岩倉具視

『日本歴史』五〇〇号 一九九〇年

東京「遷都」の政治過程

『人文学報』（京都大学）六六号 一九九〇年

明治維新时期における天皇と華族

『思想』七八九号 一九九〇年

初期議会の貴族院と華族

『人文学報』（京都大学）六七号 一九九〇年

西南戦争における西郷隆盛と士族

『人文学報』（京都大学）六八号 一九九一年

赤報隊の結成と年貢半減令

『人文学報』（京都大学）七三号 一九九四年

西郷隆盛と西郷伝説

『岩波講座・日本通史16 近代1』一九九四年

明治天皇の巡幸と「臣民」の形成

『思想』八四五号 一九九四年

天皇巡幸と民衆

『立命館言語文化研究』五一四号 一九九四年

「公武合体」をめぐる朝幕藩関係

前掲『日本の近世18』所収 一九九四年

明治天皇のイメージ形成と民衆

西川長夫・松宮秀治編『幕末・明治期の国民国家形

成と文化変容』新曜社 一九九五年

大政奉還と討幕密勅

『人文学報』（京都大学）八〇号 一九九七年

戊辰戦争への道

『人文学報』（京都大学）八三号 二〇〇〇年

大久保利通の遺書

前掲『幕末維新を考える』所収 二〇〇〇年

榎本武揚―幕臣の戊辰戦争

前掲『それぞれの明治維新』所収 二〇〇〇年

攘夷と国是の位相

前掲『近代日本における東アジア問題』所収

二〇〇一年

彦根藩の戊辰戦争

前掲『幕末維新の彦根藩』所収 二〇〇一年

大久保利通と囲碁の逸話

前掲『明治維新の新視角』所収 二〇〇一年

文久3年政変と薩摩藩

『人文学報』（京都大学）八七号 二〇〇二年

近代天皇のイメージと凶像

『岩波講座・天皇と王権を考える6 表徴と芸能』

二〇〇三年

大久保利通と佐賀の乱

前掲『明治維新期の政治文化』所収 二〇〇五年

「攘夷」とは「陋習」だったのか

『日本歴史』七〇四号 二〇〇七年

井伊大老襲撃計画と薩摩藩誠忠組

『茨城県史研究』九四号 二〇一〇年

東京遷都と明治創業の精神

『神園』四号 二〇一〇年

明治六年政変と大久保利通

『奈良史学』二八号 二〇一一年

松平春嶽と明治維新

『福井県文書館研究紀要』八号 二〇一一年